

## ●看護学部の3つのポリシー

### 1) ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)

看護学部はこれらの教育理念を受け、本学部の課程において124単位以上(保健師教育課程130単位以上)の単位修得と必要科目の履修等の条件を充たし、次のような能力・資質を備えた人物に学位を授与します。

#### (1) 自ら成長する力 (知識・理解) (態度・志向性)

- ①自己の将来像と目標をもち、社会人として自ら考え、判断し、行動できる力を養う。
- ②学習の経験を関連付けながら学修を重ね、専門職としての使命と役割を認識できる。

#### (2) 他者と関係性を築く力 (汎用的技能)

- ①相手の考えを尊重し、自己の考えも相手に伝える豊かなコミュニケーション力を身につける。
- ②多様な価値観・信条をもつ人々に対し、共感的態度で接し、信頼関係を築くことができる。

#### (3) 人間の生命と尊厳を護る力 (態度・志向性)

- ①愛しみのこころをもち、人間の生命と尊厳、権利を護り、その人らしい生き方を支援できる。
- ②自己を省みる姿勢をもち、誠実で責任のある行動をとることができる。

#### (4) 人間を総合的に理解する力 (汎用的技能)

- ①様々な環境、生活背景を持つ人々を、身体的、精神的、社会的、文化的側面から理解できる。
- ②あらゆる発達段階、健康レベルにある人々を、地域で生活を営む人として捉えることができる。

#### (5) 論理的に思考し、根拠に基づき実践する力 (統合的な学習経験と創造的思考力)

- ①対象者の健康課題を思考、判断し、根拠に基づいた最良のケアを計画、実施、評価できる。
- ②対象者の意思決定を支え、自立を支える柔軟かつ創造的なケアを導くことができる。

#### (6) 協働、連携する力 (態度・志向性) (汎用的技能)

- ①多様な看護活動の場を理解し、保健・医療・福祉チームの一員として多職種と協働、連携できる。
- ②健康づくりのパートナーとして、コミュニティの人々と共に健康推進活動に参画、実践できる。

#### (7) グローバルな視野で応用する力 (総合的な学習経験と創造的思考力)

- ①人々の健康や生活を捉え、国、民族、文化の違いを超えた看護の役割を認識できる。
- ②地域の健康課題の解決、ヘルスシステムの充実に向けて、包括的な視野から政策を考察できる。

#### (8) 継続学習と社会に発信する力 (総合的な学習経験と創造的思考力)

- ①多様化する人々の健康ニーズに対し、広域的、継続的に専門性を深化、探求する力を身につける。
- ②社会の動向や技術の進展をふまえ、看護の発展に寄与、発信する姿勢を身につける。

## 2) カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

本学の建学の精神である『人間理解と地域貢献』に基づき構成されたディプロマ・ポリシーを達成するために、カリキュラムは「基礎分野」「専門基礎分野」「専門分野」の3つの分野で編成しています。カリキュラム編成の方針は次の通りです。

（1）「基礎分野」では、看護の職務を遂行する上で必要となる豊かな人間性や倫理観、使命感を自ら培うこと、「専門基礎分野」では、人の生命の仕組みと働きおよび疾病・障がいの基盤を学習し、その知識に基づき論理的に思考する力を養うこと、「専門分野」では、看護学の基礎的な概念・理論を人の発達段階や健康レベルの視点から理解し、健康課題の解決に向け根拠に基づいた実践能力を身につけることを学びます。

（2）一人の人間を総合的に理解することは、看護実践に欠かせないものです。そのため、他者と関係を築くための相互コミュニケーション能力を育むための科目や人の心を深く洞察するための心理学の科目を基礎分野から学びます。その上で、人間一人ひとりの生命と尊厳と権利の在り方を理解し、それらを護る力を備えられるよう専門分野まで発展させて学んでいきます。

（3）看護は専門的知識をもとに、人に起きた現象を解釈し根拠に基づいた実践により支援します。そのために必要な知識を系統立てて学び、それらの統合・実践の技術を積み上げ式に学んでいくことで、臨床判断力の向上を目指します。また実践と省察を繰り返し、健康課題に向き合う力と解決する力を身につけます。

（4）地域共生社会の実現のためには、地域で暮らす人々の様々な環境、生活背景を理解し、それらと相互作用していく発達段階、健康レベルに個別的にまた系統的に対応していかなければなりません。そのために1年次より地域で生活を営む人とその支援を体験しながら学ぶ機会を設け、その上でその人らしさの実現に必要とされるヘルスプロモーションの概念や地域支援の施策・連携を学んでいく科目を配置しています。同時に地域の防災に関する科目を通じて、地域特性に合わせた互助に対する意識を高めていきます。

（5）多様な人々を支える看護職は自らも変化・成長し続け、心地よい対応の幅を広げていくことが大切です。また看護の役割は多職種との連携・協働することも担っています。そのためにICTも活用しながら適切な情報を集め、自分の力で考え選択し行動する力を養う科目を4年間通して配置し、他の科目においても仲間を通じてリーダーシップおよびメンバーシップを発揮していく学習形態を多く取り入れています。また学年が上がるにつれて、自分の興味・関心を深め将来の専門性を意識できる科目を配置しています。

## 3) アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

看護学部は学位授与方針および教育課程編成の方針に定める人材を育成するために、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求めます。

（1）人々の健康と生活、人を取り巻く地域・環境に関心を持ち、看護学に関する学習に意欲的に取り組める者

（2）看護学を学ぶ上で基礎となる主要教科の学力を有する者

（3）看護学を学ぶ上での基礎的なコミュニケーション能力を有する者

（4）将来、看護学の発展および地域社会に貢献しようと努力する者

（5）自らの健康状態や生活習慣に対する管理ができている者